



勢いよく、みこし「神興保存会」のメ

内装業網崎勝さん(39)は「祭りの伝統を受け継ぎ、これからも地域を活気づけたい」と汗をぬぐっていた。「けんかみこし」は一七四〇年に始まった。一九九四年を最後に途絶えていたが二〇〇三年に保存会が発足、翌年復活した。

(松本恭治)

リングで紙芝居やクイズ イベント

安芸区で

H.18.9.25

ボクシングのリング内で子どもたちが紙芝居やクイズを楽しむイベントが二十四日、広島市安芸区

のボクシングジムであった。ジムで子どもとの交流や健全育成に取り組む特定非営利活動法人(NPO法人)「フリースクールグロービー」(丸亀恭敬理事長)の主催。「聞く力を養う」をテーマにした、一分五秒のボクシングジムに通う地域の小中学生ら十五人が参加した。府中町の紙芝居作家中村由利江さん(55)は鬼の親子が漁師を

助けに向かううみにし、登場人物ごとに声や表情、ずんだおにぎりを披露。一変える巧みな話術に、子どもたちは夢中になっていた。手品やサウンドバッグを交代でたたくゲームもあり、海田西小四年黒田虎之介がボクシングのリング内で紙芝居に見入る子どもたち



君(10)は「練習はつらい時もあるけど、今日は全部楽しめた」と目を輝か

不登校生徒や中退者サポート校など紹介
中区で説明会

不登校の生徒や高校中退者らを支援する通信制高校とサポート校の合同説明会(中国新聞社主催)

が二十四日、広島市中区の市まちづくり市民交流プラザであった。高校生や保護者ら約百人が参加した。

北海道や鹿児島県などに本部のある六校の担当者が、各校の年間カリキュラムや力を入れている

せていた。グロービーは不登校の子どもも積極的に受け入れ学習支援に取り組みイベントは練習以外の交流の場もつくりたいと初めて企画した。来年二月まで月一回のペースで開く。グロービー 082(823)8949。

(久保田剛)

クラブ活動など特色や校風を説明。通信課程のレポート提出などを支援する広島市内でのサポートシステムについても紹介した。

今の学校の雰囲気になじめないという安佐北区に住む高校一年の女子(16)は「自由な雰囲気のある通信制高校に興味がある」。母親(49)は「たくさん学校の担当者から、直接話を聞くことができ参考になった」と話していた。

(永井友浩)